

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年2月13日発行

2026.2.2 ～ 2026.2.8 ー 第6週 ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					仙 台 市	宮 城 県(含む仙台市)	
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器感染症 *1	1087	1148	867	510	616	3,251	7,479	27,138
	217.40	114.80	173.40	102.00	154.00	125.04	135.98	
	428	709	295	207	390	1,316	3,345	8,895
インフルエンザ *2	85.60	70.90	59.00	41.40	97.50	50.62	60.82	
	42	53	31	39	12	108	285	1,262
	8.40	5.30	6.20	7.80	3.00	4.15	5.18	
新型コロナウイルス感染症 *2	1	1	2	1		21	26	116
	0.50	0.17	0.67	0.33		1.40	0.84	
小児科定点		1				1	2	27
		0.17				0.07	0.06	
	3	61	9	5		33	111	488
	1.50	10.17	3.00	1.67		2.20	3.58	
	9	23	15	5	46	111	209	946
	4.50	3.83	5.00	1.67	23.00	7.40	6.74	
						4	4	52
						0.27	0.13	
							0	3
眼科定点		1				3	4	49
		0.17				0.20	0.13	
		3	1			2	6	35
		0.50	0.33			0.13	0.19	
						1	1	1
						0.07	0.03	
			1			3	4	6
			0.33			0.20	0.13	
							0	1
基幹定点			3	1		2	6	27
			3.00	1.00		0.33	0.50	
							0	0
							0	0
							0	0
基幹定点				1			1	24
				1.00			0.10	
							0	0
拡張疾病			2	1		4		
					2	1		

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

※ 今回のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 22例(前週比較:-2例)

※ 今回の新型コロナウイルス感染症による入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)22例(前週比較:+7例)

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名(第4週)

仙台管内 男性1名、女性2名

結核(無症状病原体保有者)

仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名

梅毒

大崎管内 女性1名

仙台管内 女性1名

百日咳

仙台管内 女性1名

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第5週採取分 ノロウイルスGⅡ群 6件

大崎管内 第5週採取分 ノロウイルスGⅡ群 2件

急性呼吸器感染症患者より

第6週採取分(6検体)

インフルエンザウイルスBビクトリア系統 3件、

RSウイルスサブグループB 1件、パラインフルエンザウイルス2型 1件、

陰性 2件

※

一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始／継続

基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。

<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今回のコメント

【インフルエンザ】

インフルエンザの定点医療機関あたりの患者報告数は、前週の49.02人から60.82人へと増加し、5週連続の増加となりました。県は2月5日に、県内でのインフルエンザの感染者数が再び増加していることから、注意喚起を行いました。急性呼吸器感染症患者からB型インフルエンザウイルスが複数検出されていることから、B型の流行が拡大していると考えられます。

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。加湿と換気を心がけ、咳エチケットの徹底、手洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう。

【感染性胃腸炎】

気仙沼管内の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週の17.50人から23.00人へと増加しました。保育施設や高齢者施設等からの集団発生事例が報告されており、患者からはノロウイルスが検出されています。引き続き、手洗いなどの予防の徹底に努めましょう。感染者の吐物や便などを処理する際には、マスクや手袋を着用するとともに、処理物が飛び散らないよう注意し、塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒を行ってください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

宮城県定点週報告対象疾病の推移

